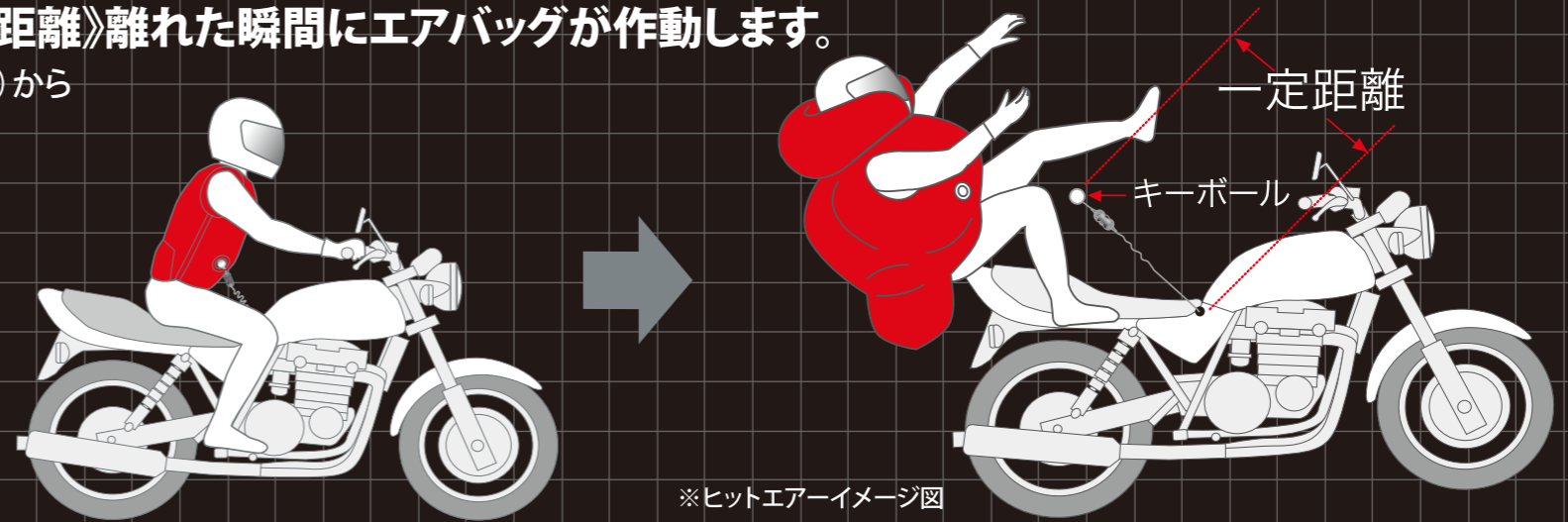
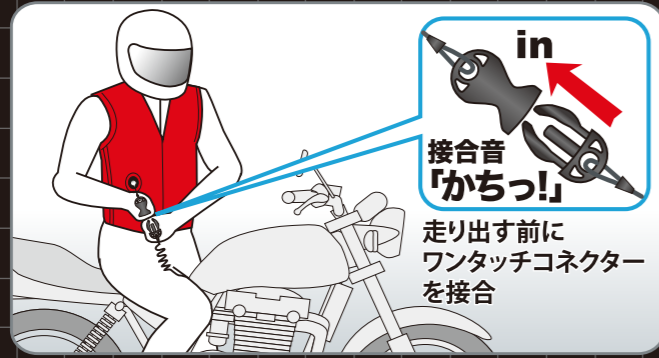


# 着用するエアバッグ AIRBAG SYSTEM 衝撃緩和保護システム

転倒や追突などによってライダーがバイクから《一定の距離》離れた瞬間にエアバッグが作動します。

バイクと体を繋いでいるワイヤーが引っ張られるとキーボックス(起動装置)からキーボール(作動ピン)が抜け、エアバッグが作動します。



※ヒットエアイメージ図

## エアバッグ基本構造

hit-airエアバッグは、上衣として着用して下さい。



**キーボックス (起動装置)**  
炭酸ガスのカートリッジポンペを装備したエアバッグ起動装置

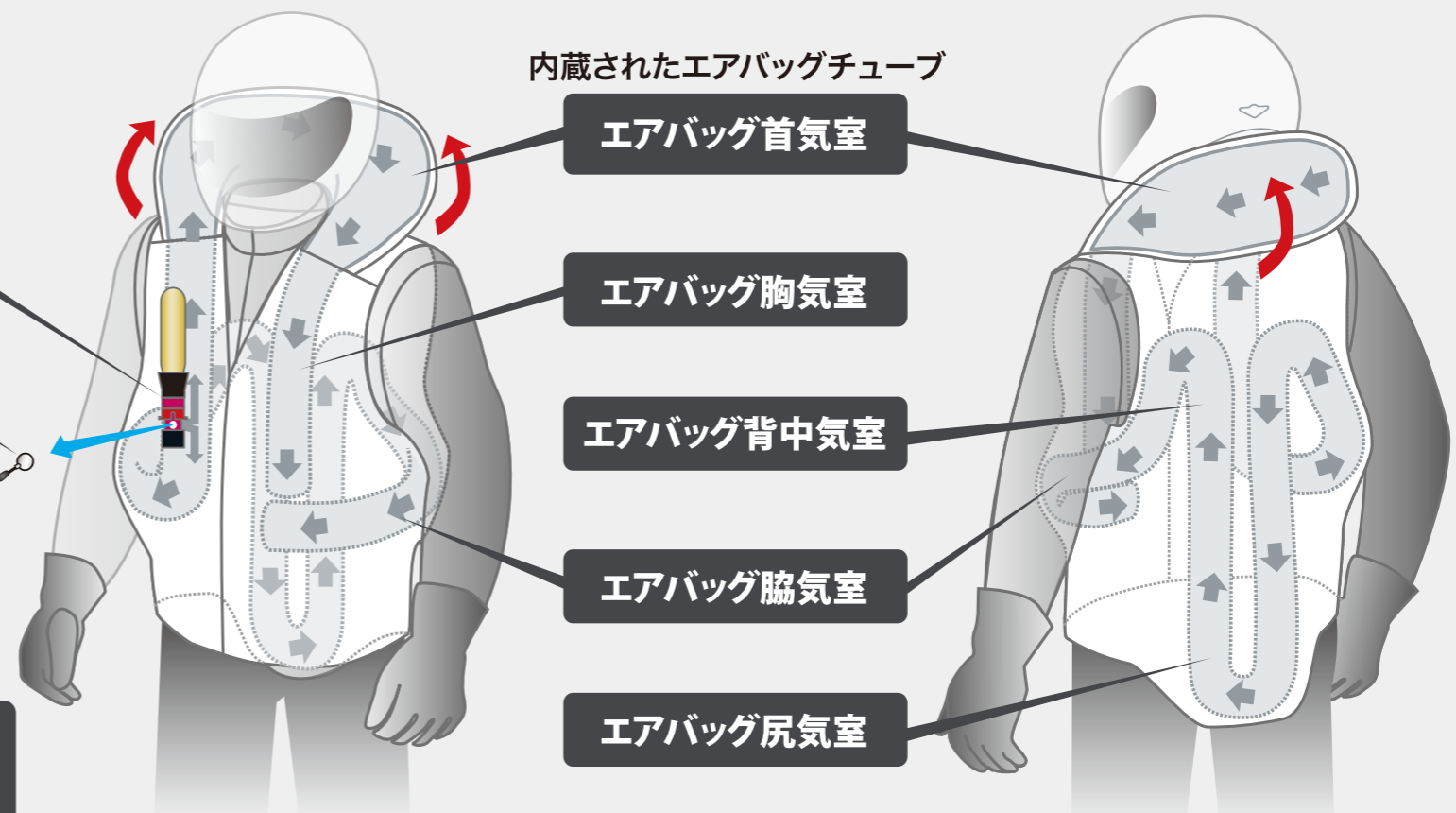
**キーボール (作動ピン)**  
キーボールが外れた瞬間にポンペから炭酸ガスが注入され膨らみます

**伸縮ワイヤー**  
バイクの所定の位置に長さを調節して取付けます



**ワンタッチコネクタ**  
乗車時と降車時、バイクに跨った状態で脱着します。

首・背中・胸・臀部などを保護し、人体への衝撃を緩和します。



※モデルによってエアバッグ構造が異なる場合があります。

## 降車時、ワンタッチコネクタを外し忘れて作動してしまうのでは?

簡単に作動しないよう、キーボールが抜けるには約30kgの張力を必要とします。通常であれば、作動することなくワンタッチコネクタの外し忘れに気付くことができます。

\* 立ちゴケなどでも、約30kgの力が加わった場合は作動します。



## エアバッグが展開しても繰り返し使用できます。

ジャケットに損傷がなければ、CO2カートリッジポンペを交換して、繰り返し使用できます。

\* 使用済みポンペ(底に穴の空いたもの)は使用できません。  
\* エアバッグ製品にはマニュアル、再生用工具が附属されています。

